

正会員 26校 5団体

- 敬啓大学
- エリザベト音楽大学
- 近畿大学工学部
- 呉工業高等専門学校
- 県立広島大学
- 山陽女子短期大学
- 鳥根県立大学
- 日本赤十字広島看護大学
- 比治山大学
- 比治山大学短期大学部
- 広島経済大学
- 広島工業大学
- 広島国際学院大学
- 広島国際大学
- 広島修道大学
- 広島女学院大学

- 広島市立大学
- 広島大学
- 広島都市学園大学
- 広島文化学園大学
- 広島文化学園短期大学
- 広島文教大学
- 福山大学
- 福山平成大学
- 安田女子大学
- 安田女子短期大学
- 広島県教育委員会
- 広島市教育委員会
- 呉市教育委員会
- 福山市教育委員会
- 広島県私立中学高等学校協会

準会員 3校

- 尾道市立大学
- 福山市立大学

放送大学広島学習センター

賛助会員 56団体

紀伊國屋書店(中国営業部) / 中国新聞社 / 広島銀行 / 広島信用金庫 / 大学生協中国・四国事業連合 / 広島電鉄 / モルテン / 凸版印刷(中国事業部) / 進研アド(中・四国支社) / 広島商工会議所 / 中電工(広島統括支社) / リクルート / もみじ銀行 / 五洋建設(中国支店) / 清水建設(広島支店) / 熊平製作所 / 合同総研 / 丸善雄松堂(広島支店) / 広島市信用組合 / 西日本電信電話(広島支店) / フジタ(広島支店) / 野村證券(広島支店) / コトバンク(中国支店) / SMBC日興証券(広島支店法人部法人課) / ひろしま管財 / アポアエンジニアリング / 中国電設工業 / A・I・C 広島マネジメントシエラトランドホテル広島 / オオケン / ムロコシステムズ / 山菊 / ワイテック / テレビ新広島 / 広島テレビ放送 / 広島ガス / 広島ホームテレビ / 広島マツダ / 日本システム技術(GAKUEN事業部) / 中国放送 / ひろしま IT ソリューションズ / ナソニックネットワーク(現場ソリューションカンパニー) / アンデルセン・パン生活文化研究所 / 廣告社(広島支店) / ゼネラルステール / 三菱地所設計(関西支店広島事務所) / JTB(広島支店) / オカムラ(広島支店) / リーガロイヤルホテル広島 / コクヨマーケティング(中国支店) / 田中電機工業 / アズティ / 大方工業所 / 日立製作所(中国支店) / イズミ / 御堂筋法律事務所(広島事務所) / 学校法人 1Q1 学園

会費・参加費

基本会費 大学 22万円(同一学校法人設置大学・短期大学 10万円)短期大学 18万円
高等専門学校 10万円・教育団体会費 10万円、5万円、3万円
学部学生数1人につき 60円
(短期大学、県外大学、福山市尾道市の大学、高等専門学校は免除)
規模別会費 3万円
準会員会費 1口3万円
賛助会費 1高校につき3万円(正会員は免除)
高大連携事業会費

理事・監事

| | | |
|------|-------|--------------------------|
| 代表理事 | 長坂 康史 | (広島工業大学 学長) |
| 理事 | 石井 真治 | (比治山大学・比治山大学短期大学部 学長) |
| 理事 | 大塚 豊 | (福山大学 学長) |
| 理事 | 越智 光夫 | (広島大学 学長) |
| 理事 | 川野 祐二 | (エリザベト音楽大学 学長) |
| 理事 | 河野 修興 | (広島都市学園大学 学長) |
| 理事 | 坂越 正樹 | (広島文化学園大学・広島文化学園短期大学 学長) |
| 理事 | 瀬山 敏雄 | (安田女子大学・安田女子短期大学 学長) |
| 理事 | 旗手 稔 | (近畿大学工学部 学部長) |
| 理事 | 森下 要治 | (広島文教大学 学長) |
| 理事 | 焼廣 益秀 | (広島国際大学 学長) |
| 理事 | 矢野 泉 | (広島修道大学 学長) |
| 理事 | 若林 真一 | (広島市立大学 学長) |
| 監事 | 石田 優子 | (広島経済大学 学長) |
| 監事 | 三谷 高康 | (広島女学院大学 学長) |
| 監事 | 森永 力 | (県立広島大学 学長) |

組織図



【2022. 7. 1 現在】

教育ネットワーク中国 ―連携・協力・共助をめざして―

一般社団法人教育ネットワーク中国は、広島の高等教育機関が連携・協力することにより、広島の高等教育機関全体が魅力あるものとなり、各大学の学生の多様なニーズに応え、学ぶ意欲をもった人たちにより多くの学習機会を提供することを目的として1998年に設立され(設立当初組織名: 広島県高等教育機関等連絡協議会)、本年で25年目となりました。その間、教育ネットワーク中国が関わる事業は年々増加してきましたが、皆様のご支援とご指導により現在がありますことを深く感謝申し上げます。

教育ネットワーク中国の事業は大学・短期大学、地方公共団体、高等学校、企業など、それぞれが持っている資源を相互に提供し合う形で実施されており、会員の皆様の連携と協力、助け合いによって成り立っています。

設立から現在まで

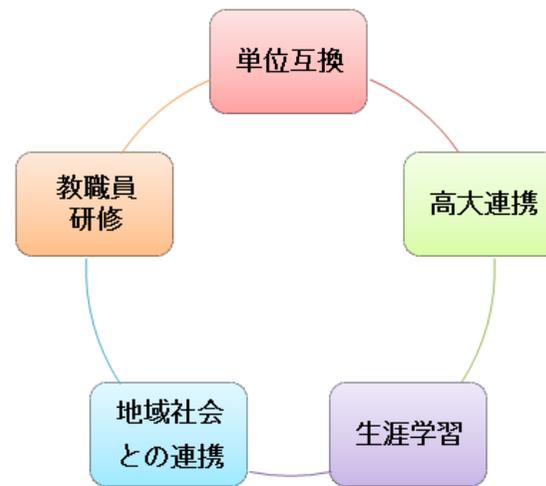
- 1997. 10. 7 「協力し連携することによって広島の高等教育機関全体がレベルアップし、魅力あるものとなる」ことをめざして、広島修道大学学長、広島工業大学学長が協議会の結成を呼びかける。
- 10. 31 協議会設置準備会を開催。
- 12. 15 広島修道大学学長、広島工業大学学長、広島経済大学学長、安田女子大学学長が協議会の設立発起人となる。
- 1998. 4. 1 広島県高等教育機関等連絡協議会発足。
- 広島県教育委員会、財団法人広島県教育事業団の協力を得て、30の大学・短期大学が参加。事務局を広島県生涯学習センターに置く。
- 1999. 4. 1 単位互換及び生涯学習事業を始める。
- 2002. 4. 1 広島県高等教育機関協議会と改称、高大連携事業を始める。
- 2003. 4. 1 大学院単位互換事業を始める。
- 11. 27 全国大学コンソーシアム協議会設立、呼びかけ団体となる。
- 2005. 4. 1 教育ネットワーク中国と改称。広島県私立中学高等学校協会加盟。
- 2006. 4. 1 広島市教育委員会、呉市教育委員会加盟。
- 6. 17 教職員研修会を開始。
- 2007. 4. 1 高大連携科目等履修生制度の開始。
- 教育ネットワーク中国設立10周年。
- 9. 15 第4回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。(会場: 広島修道大学)
- 2008. 3. 21 中国新聞社との包括的連携協力協定を締結。
- 8. 20 文部科学省「戦略的連携支援事業」採択。(～2010年度)
- 12. 25 事務局を広島県自治会館内に移転。
- 2009. 4. 1 南大阪地域大学コンソーシアムと単位互換制度に係る包括協定締結。
- 中国新聞キャンパスリポーター募集開始。
- 5. 1 「広島県大学コンソーシアム支援事業」補助金受託。(～2011年度)
- 2011. 4. 1 一般社団法人登記(一般社団法人教育ネットワーク中国と改称)
- 広島県留學生生活支援センター設置。折りづるみこし連参加。(～2018年度)
- 2012. 4. 1 広島県留學生生活支援センターをひろしま国際センターへ移管。
- 4. 10 事務局を広島修道大学インターナショナルハウスに移転。
- 2013. 4. 9 広島県民文化センター5階に開設されたサテライトキャンパスひろしまに単位互換科目・高大連携公開授業、公開講座・生涯学習講座を提供。
- 2014. 4. 1 広島県教育委員会加盟。
- 2015. 8. 7 シャレオ大学生コンサート開催。
- 2016. 4. 1 尾道市立大学、福山市立大学準会員加盟。
- 2016. 9. 10 第13回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム開催。(会場: エリザベト音楽大学、広島国際大学 広島キャンパス)
- 2017. 4. 1 一般社団法人教育ネットワーク中国設立20周年。
- 2018. 4. 1 福山大学、福山平成大学、福山市教育委員会加盟。
- 2019. 4. 1 放送大学広島学習センター準会員加盟。
- 2021. 4. 1 敬啓大学加盟。



ロゴマーク
【コンセプト】
教育ネットワーク中国の教育(education)のeとネットワークのn(Nの小文字)と中国のeを基に制作しました。小文字nをその形から橋のイメージを意図したフィクション。ノンフィクション問わず橋を大勢の人々で協力し建造する物語は数多くあり、そのことから、このロゴのテーマに最適に思いました。その橋の左の卵形をしたeから何か新しいものが生まれて橋を渡っていくようなイメージです。設立10周年記念の公募で選定しました。



一般社団法人 教育ネットワーク中国 2022



〒730-0803
広島市中区広瀬北町9-3
広島修道大学インターナショナルハウス内
TEL: 082-533-7590 FAX: 082-533-7591
E-mail: office@enica.jp URL: https://www.enica.jp/
公式Twitter: https://twitter.com/enicaoffice

単位互換事業

自大学に開講されていない授業科目や学びたい他大学の授業科目を受講することを目的としている。

単位互換協定を締結した大学の学生は、所属大学の許可を得て出願し、他の大学において取得した単位は学生の所属する大学の単位として認定される。

経緯

1998年11月27日、単位互換包括協定を結び、10大学9短期大学が参加して、1999年4月から学部単位互換を始める。
2000年度から「ボランティア活動（マツダ財団寄付講義）」を開始。
2005年度から教職課程科目の提供を始める。
2008年度から「現代マスコミの動きを知ろう」（中国新聞社寄付講義）を開始。
2009年度から南大阪地域大学コンソーシアムとの広域型単位互換制度を始める。
2010年度から後期提供科目の追加募集を始める。
2013年度からサテライトキャンパスひろしまを会場とするサテライト科目を開始。
2020年度から放送大学が単位互換包括協定に参加。

特色ある科目

- * 中国新聞寄付講義 広島女学院大学「ライフキャリア特別セミナーⅠ」
- * マツダ財団寄付講義 広島市立大学「地域ボランティア活動」
- * サテライト科目 広島工業大学「学外研修（グローバル化とIoT・AIが変える「ものづくり」）ほか」
- * 教職課程科目 エリザベト音楽大学、広島文教大学「教育原理」
広島修道大学「教育哲学」
- * 広域型単位互換科目 広島経済大学「広島を学ぶ」
南大阪地域大学コンソーシアム「キャリアと社会」・高野山で学ぶキャリアとわたし」（不開講）

履修者数

| | 包括協定校 25校 ※放送大学・広域型単位互換2校を含む | | | |
|---------|------------------------------|--------|--------|--------|
| | 1999年度 | 2019年度 | 2020年度 | 2021年度 |
| 提供科目数 | 86科目 → | 225科目 | 189科目 | 184科目 |
| ①延べ履修者数 | 213人 → | 79人 | 5人 | 24人 |
| ②実質履修者数 | 164人 → | 58人 | 5人 | 19人 |

高大連携事業

高大連携は、大学の授業科目の高校生への公開を通じて、高校生が大学の高度な教育・研究に触れ、高校教育と大学教育の円滑な接続に資することを目的としている。提供科目は公開授業（大学の正規の科目）と公開講座（高校生のための科目）から構成されている。

経緯

2002年3月に広島県下152高校が参加して高大連携協定を締結。
2002年4月から広島県立、広島市立、呉市立、福山市立、広島県私立各高校が参加して開始。
2003年度から広島大学附属高校と高大連携協定を締結し153校となる。
2005年度から岩国地区の高校と高大連携協定を締結し157校となる。7月18日以降に開講される授業、講座の二次募集を開始。
高大連携委員会の設置、高大連携研究会の開催。
三原尾道地区で高大連携公開講座を開催。
2007年度からは備北地区3会場で中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」を開講。
2007年度から12大学・短大で高校生を科目等履修制度の開始。
2009年度から高大連携遠隔授業を中山間地区の高校と実施。（～2018年度）
2014年度からサテライトキャンパスで「大学フェアひろしま」を開催。
広島県教育委員会と高大連携協定締結。（新制度）
2015年12月に広島大学附属福山高校と高大連携協定締結。
2017年4月に岡山県立井原高校、岡山県立笠岡高校と高大連携協定締結。

| 開講年度 | 公開授業 (申込者数) | 公開講座 (申込者数) | 科目等履修 ※公開授業を含む |
|-------|----------------|----------------|-------------------|
| 2002年 | 92講座 157人 | 24講座 153人 | |
| ↓ | ↓ | ↓ | |
| 2007年 | 120 201 | 78 1,299 | 23講座 27人 |
| 2020年 | 46 30 | 90 1,610 | 17 5 |
| 2021年 | 34 85 | 110 3,245 | 14 11 |

大学へ行こうウィーク

おおむね7月31日～8月12日の間に開講される授業・講座を「大学へ行こうウィーク」としてチラシを作成し広報。

[2021年度：公開授業2大学2科目・公開講座11大学2短大68科目]



中高大連携公開講座「大学で何を学ぶか」

備北地域の高校の人材育成のためにより高度な学習機会の提供

庄原地区・安芸高田地区で実施。
2021年度は26講座を提供、延べ628人がオンライン受講。



高大連携研究会

高校と大学の連携を促進するために2005年より開催。

2021年度「大学入学共通テストと高大接続～高校・大学の課題～」オンライン開催。
[2021年度参加者：高校関係9人、大学関係（会員校）33人、その他7名、合計49人]

生涯学習事業

経緯

1999年度から共同開催講座と連携公開講座を広島県立生涯学習センターにおいて開講。
2001年度から広島県教育委員会と「ばれっとカレッジ」を広島県立生涯学習センターにおいて開講。
2002年度から広島市教育委員会と「シティカレッジ」を広島市まちづくり市民交流プラザで開催。
2003年度から講座情報をホームページで公開。
2005年度から公開講座「これからの教師像」を開講。
2009年度より「ばれっとカレッジ」「シティカレッジ」あらたに「エニカカレッジ」を加え、総称を「ひろしまカレッジ」とし、ICカード受講証を発行。ひろしまカレッジ交流会の開催。メールマガジン（講座情報）配信開始。
2010年度よりひろしまカレッジとして「大学で開講する公開講座」開講。
2014年度より「ばれっとカレッジ」を休止、サテライトキャンパスを会場とする「サテライトカレッジ」を開講。

ひろしまカレッジ

IC受講証を活用し、受講受付・受講履歴の確認



メールマガジン（講座情報）配信

[登録者数 約313人・配信数8]
2021年度は、3講座開講し、延べ受講者数は119人。

学生のキャリア支援事業

「これからの教師像2021」
教員を目指す学生のキャリア形成を支援するため、2005年度からエニカカレッジとして毎年開催。2021年度はサテライトキャンパスひろしまからWeb配信。
【プログラム】
第1講義：「求められている教師像—長年続いってきた日本の受動的・同調的な学びを主体的・対話で深い学びに変えるために私たちができること—」
第2講義：「これからの学校現場における生徒指導のポイント」
第3講義：「教師としてのやりがい！—感染症対策の中での児童生徒とのかかわりを通して—」
第4・5講義：「主体的・対話的で深い学びを実現するための授業と学習指導のヒント—ICTも活用して—（小学校/中・高等学校）」



[2021年度：14大学593人参加]

ICカード受講証

企業との連携



地域社会との連携

中国新聞キャンパスリポーター制度

- ・所属大学に関するニュースや話題、地域課題、課外活動などを取材し、中国新聞紙面「キャンパスリポーター発」やサークルやクラブ活動を紹介する「サークルFILE」の記事を投稿。
- ・学生リポーターが聞く！地元企業のトップへのインタビュー記事を掲載。
- ・記事の書き方、写真の撮り方などの研修会を実施。
- ・中国新聞キャンパスリポーター交流会の開催。
- ・年間を通して優秀な学生を表彰。（最優秀賞、優秀賞、奨励賞）
- ・中国新聞紙面や中国新聞デジタルの記事を教育ネットワーク中国公式Twitterに投稿。



[2021年度新規登録17校70人、在籍者数17校198人]

「大学競宴！大学生コンサート」

「広島の大学生の歌声や演奏で広島の街を盛り上げたい」学生たちによる合同コンサートを2015年度からシャレオ中央広場で開催。
また、2018年からは広島市中区と共催し、「大学競宴！シャレオ大学生コンサート～なちやん音楽の輪～」として開催。2021年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響でシャレオ中央広場での開催は中止し、動画配信。
[8大学1短大15グループ出演]
<演奏動画URL> <http://www.enica.jp/concert2021.html>



ひろしま地域カード連携コンソーシアム 2012年4月6日設立

中国新聞社・PASPY運営協議会・広島銀行・一般社団法人教育ネットワーク中国（幹事会員）各種カードの連携による地域活性化に向けて活動及び会員向け勉強会の企画、開催。

教職員研修

| | 2006年度 | 2009年度 | 2020年度 | 2021年度 |
|------|--------|--------|---------|---------|
| 講座数 | 7講座 → | 5講座 → | 3講座 | 6講座 |
| 参加者数 | 385人 → | 386人 → | 212人 | 257人 |
| | | | ※限定配信含む | ※限定配信含む |

| 日程 | 2021年度 教職員研修会 テーマ | 参加数 |
|----------------------------|---|-----|
| 第1回 6/5(土) 【オンライン】 | 「これからの大学運営～大学職員のつながり～」 講演：「大学教育の質的転換と教職員力」 グループワーク | 54 |
| 第2回 7/9・10(金・土) 【オンライン】 | 「TPチャート作成ワークショップ（第3・4回）」 | 24 |
| 第3回 10/16(土) 【オンライン】 | 「退学率、留年率のIR分析」 事例発表：広島経済大学、比治山大学・同短期大学部 広島国際大学、広島工業大学 パネルディスカッション | 47 |
| 第4回 12/18(土) 【オンライン】 | 「教育著作権とICT活用（SARTRASの活用）」 | 35 |
| 第5回 12/19(日) 【オンライン】 | <大学行政管理学会地区研究会との共催> 「学生を支援するには、何をすればよいですか？」 講演：「戦後日本の学生支援とは何か—「厚生補導」の制度改革と理念・目的・担い手の歴史から—」 事例発表1：「コロナ禍における学生の友人関係とコミュニケーション」 事例発表2：「学友会（学生自治組織）活動の支援から考えたこと」 情報交換会 | 49 |
| 第6回 12/23(木) 【オンライン】 | 「TPチャート作成ワークショップ（第5回）」 | 9 |

[2021年度 19会員校225人、計257人]